

一般質問通告書

議員番号 2番

肥沼東村山市議会議長様

質問者 島崎よう子

平成27年5月28日

番号	質問の項目と要旨
1	<p>「要援護者名簿への登録制度」を、ひとり暮らし高齢者や障碍のある方が安心してくらせるものに</p> <p>①目的を確認したい。</p> <p>②要援護者の登録者数(区別内訳)および支援者数を伺う。</p> <p>③①の登録者数に対する見解を伺いたい。合わせて目標数を伺う。</p> <p>④支援者は、名簿の取り扱いについて、個人情報保護等の義務が生じるが、地域での支え合いやつながりづくり等協力事項については「無理のない範囲で行って戴きたい内容」となっている。この2年間で、登録制度が出来たことにより機能したことはあったか。</p> <p>⑤マイナンバー制度が導入されると、要援護者及び支援者の転出情報がリアルタイムで把握し、発災時に的確かつ迅速に安否確認を行うように整備できるのか。</p>
2	<p>安全な通学路を確保せよ</p> <p>1、通学路の設定はどのようにされるのか、確認したい。周知はどのようにしているか。</p> <p>2、青葉町3丁目では三恵病院建替えに伴い、工事車両からの安全確保策として、多磨全生園内西側の一帯を通学路として利用させて戴いてい</p>

る。平成 24 年 4 月 1 日発行の使用許可書では、工事終了後は現状復帰することが記載されている。しかし、元々幅員の狭い道路のため歩車分離されておらず、車がすれ違えない箇所もあり、さらに所沢街道から侵入してくる車もあり危険な状況である。今回、近隣の保護者の方々が中心になって全生園の通学路は児童達の安全の為に必要なので残してもらいたいと活動しておられる。

① 多磨全生園入所者自治会長が、国のハンセン病対策室長に継続使用を望む住民要望を伝えたところ、東村山市或いは教育委員会が正式に対応して戴きたいとの回答であったと伺った。市長は東村山市の児童の安全のために、継続利用できるように是非とも動いていただきたい。市長および教育長のご英断を求め伺う。

② 保護者からは、シルバー人材の交通誘導員配置の強い要望がある。交通誘導員の設置についての考えを伺う。

③ 所沢街道拡幅工事の進捗について

この場所は、歩道橋があるために信号機がついてない。かつて、信号機設置要望の大きな運動があり、当時警察に伺ったところ、歩道橋がある箇所には信号機はつけられないとのことであった。また、所沢街道拡幅により歩道橋を落橋させれば信号機設置が可能となるとのことだった。現時点で、所沢街道の拡幅及び歩道設置の進捗状況を伺う。また、当該地の拡幅予定時期の見込みを伺う。
歩道橋の耐震強度は問題ないか。

3. 防犯カメラ設置

今年度から H30 年度まで、東京都通学路防犯設備整備事業を活用して、全小学校通学路へ防犯カメラを設置することになっている。

① 通学路危険箇所点検や犯罪マップ等を活用して、学校、地域、警察等関係諸機関との連携・調整をしながら置基準等の検討をするとのことであったと思うが、想定される課題は何か。

② 今年度の工事スケジュールを伺う。

4. 道路標識のリニューアルはどこまで進んでいるか。

3

公共施設再生計画へ市民の関心の広がりをつくろう

高度経済成長期に整備された多くの公共施設が近い将来、一斉に更新時期を迎え、維持・更新に莫大な費用がかかることが懸念されている。「今ある施設を今まで通りに維持していくことは不可能」で、公共サービスの質や量を検討することになるので、市民生活に大きな影響を及ぼす。

3月の「東村山市公共施設再生計画基本計画」案説明会が開催された。3月1日から5回、私が参加した夜は参加者3人、検討協議会メンバーと議員2名という状態で市民の関心はまだまだだ。具体的になった最終段階で「反対」という構図は避けたい。

① そこで、今後の市民への関心の高まりをどう作っていくのか。お考えを伺いたい。

② 年度末に行ったワークショップの振り返りをどう行ったか、